

学習課題(小学校6年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「やまなし」(教科書 103～114 ページ) に取り組みます。

- (1) 「やまなし」を読み、初めて読んだ感想をノートや取組シートに書きましょう。また、初めて読んだ時点で、どのくらい作品を理解できたか「作品理解度」も「0～100%」で書いてみましょう。

※作品理解度は、「やまなし」について、どのくらい理解しているか、学習初めの状態を自分なりに数値で表してみる活動です。



物語に難しいところも出てきて説明できないところもあるから50%かな。

- (2) 「やまなし」の作品への理解を高めるために、「五月」と「十二月」で描かれている風景を、簡単な絵や図で表してみましょう。また、【資料】「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方について、ノートや取組シートに書きましょう。

五月

- ・ クラムボンについて
- ・ かわせみについて
- ・ 明るい・太陽



十二月

- ・ 泡について
- ・ やまなしについて
- ・ 暗い・月の光

「イーハトーヴの夢」から

- ・ 賢治は岩手を大切にしているんだ、そんなことまで…
- ・ 賢治はこんな理想をもっていたんだ！すごい！！

書いていることをもとに、それぞれの場面の絵を描いてみよう。
それぞれの場面がどんなイメージかな？

賢治の生き方や理想に重ねて「やまなし」をもう一度読んでみよう！！

- (3) 「独特な表現から受ける印象」「五月と十二月の対比」「題名から想像されること」「賢治の生き方や考え方をふまえて」など、観点を決め、くわしく読んだことをもとに考えをまとめ、ノートや取組シートに書きましょう。次のページの〈まとめ方の例〉も参考にしてください。

- (4) 126 ページの「たいせつ」を読みましょう。

※可能であれば、宮沢賢治が書いたほかの作品や、「この本、読もう」で紹介されている作家の作品を読み、構成や表現、その時代に感じる言葉などに着目して、作品の世界を味わってみましょう。

◆「みんなで楽しく過ごすために」で学習する予定の新出漢字（「論」～「紅」）を練習します。（読み方や書き順などは 302 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・ 作品理解度については、「初めて読んでみて、難しくてまだよく分からなかったから□%」など、読んでみた感想とつなげて考えてみます。これから、学習していく中で、理解度を高めていくことができるような目標をもてるとよいと思います。
- ・ 教科書 P123 下段のQRコードから、宮沢賢治についての資料動画を見ることができます。可能であれば、見せてあげてください。
- ・ 「やまなし」という作品をより深く理解するために、宮沢賢治の他の作品を読むこと（並行読書）もおすすめです。「注文の多い料理店」「ゆきわたり」など魅力的な作品が数多くあるので、この機会にたくさんの本に触れていただければと思います。

＜まとめかたの例＞

ノート見開き1ページを使ってまとめたり、取組シートを横向きを使ってまとめたりした場合

